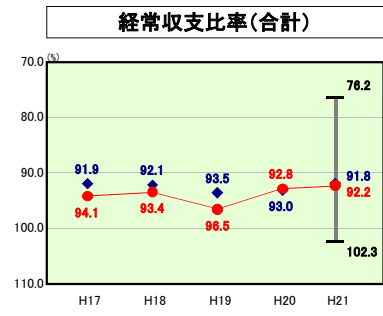


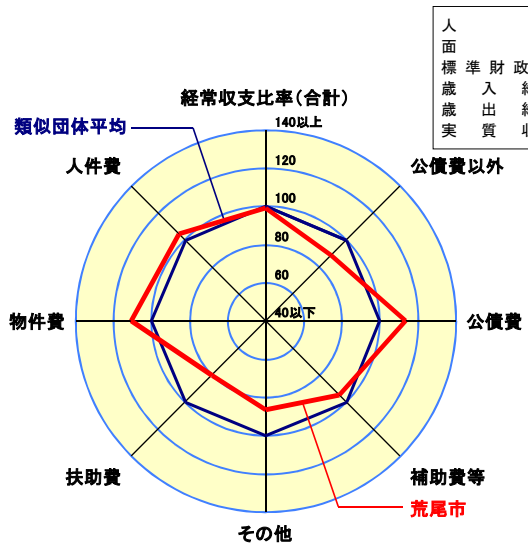
歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
■ 類似団体内の最大値及び最小値

H21類似団体内順位 70/128
全国市町村平均 91.8
熊本県市町村平均 90.8



人口	56,456人(H22.3.31現在)
面積	57.15km ²
標準財政規模	11,283,997千円
歳入総額	21,459,548千円
歳出総額	20,793,203千円
実質収支	462,125千円

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費では、平成16年に策定した「財政健全化緊急3か年計画」に基づき行政改革に取り組み、給与カット等を実施するなど、削減に努めてきた結果、全国平均以下まで下がった。今後も第四次行政改革大綱等の推進により人件費抑制に努めたい。

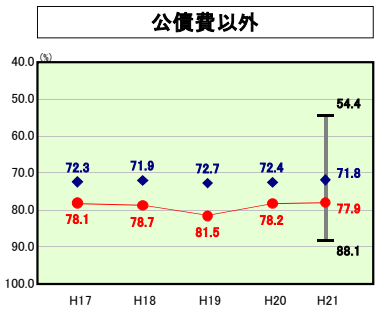
扶助費の割合が高い要因としては、生活保護率が15.47%(平成21年度平均)と全国平均と比較しても高い数値となっていることが挙げられる。

公債費については、数年来の投資的経費の抑制により、全国的にも低い水準となっている。今後も投資的事業の実施に当たっては、長期的、計画的に慎重に対処する必要がある。

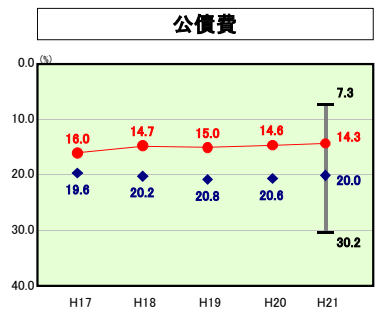
普通建設事業費の人口1人当たり決算額は、類似団体平均値と比べても低い数値となっている。これは、行政改革の取り組みと合わせ、投資的事業の抑制に努めてきているものである。

その他の経常収支比率(補助費等も含む)は、多額の累積赤字を抱える病院事業や公共下水道事業への繰出金、高い高齢化率の影響を受けて後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計への多額の繰出金を支出していることが影響している。

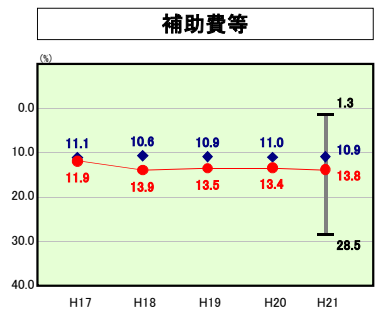
経常収支比率は、前年度に比べ減少したが、これは、退職手当償を借り入れるなどにより経常経費充当一般財源等は減少し、さらに経常一般財源等は地方交付税の増などにより増加したためである。しかし、平成14年度以降、90%以上という高水準にあり、本市の財政は弾力性に欠けている。今後も経常経費抑制等の歳出改革及び市税徴収の更なる強化に努める必要がある。



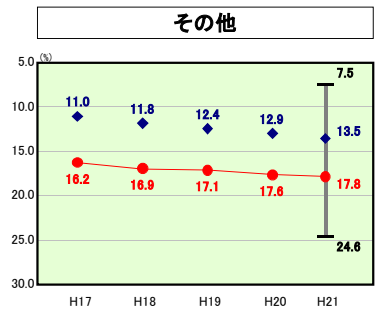
H21類似団体内順位 107/128
全国市町村平均 71.9
熊本県市町村平均 71.2



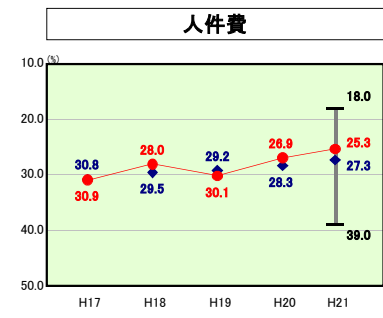
H21類似団体内順位 13/128
全国市町村平均 19.9
熊本県市町村平均 18.6



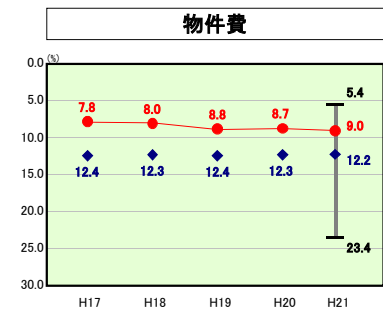
H21類似団体内順位 84/128
全国市町村平均 10.5
熊本県市町村平均 12.0



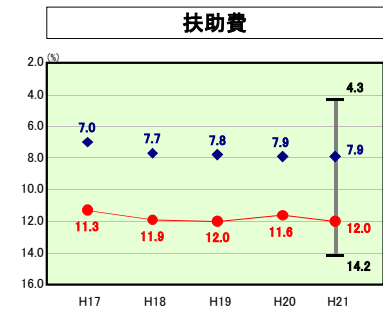
H21類似団体内順位 118/128
全国市町村平均 12.1
熊本県市町村平均 13.3



H21類似団体内順位 35/128
全国市町村平均 26.7
熊本県市町村平均 28.5



H21類似団体内順位 13/128
全国市町村平均 13.0
熊本県市町村平均 8.6

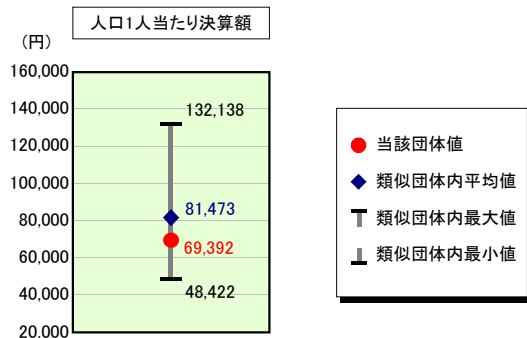


H21類似団体内順位 122/128
全国市町村平均 8.6
熊本県市町村平均 8.6

歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

熊本県 荒尾市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



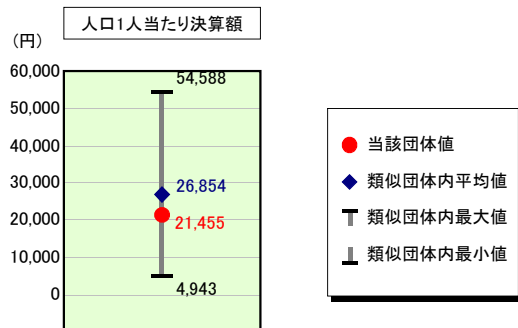
人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,588,796	63,568	74,514	▲ 14.7
賃金 (物件費)	54,076	958	4,084	▲ 76.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	472,030	8,361	6,464	▲ 29.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	309,384	5,480	876	▲ 525.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	6	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	196,635	3,483	3,111	▲ 12.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	52,284	926	1,634	▲ 43.3
▲退職金	▲ 755,624	▲ 13,384	▲ 9,216	▲ 45.2
合計	3,917,581	69,392	81,473	▲ 14.8

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.48	7.95	▲ 1.47
ラスパイレス指数	94.7	97.8	▲ 3.1

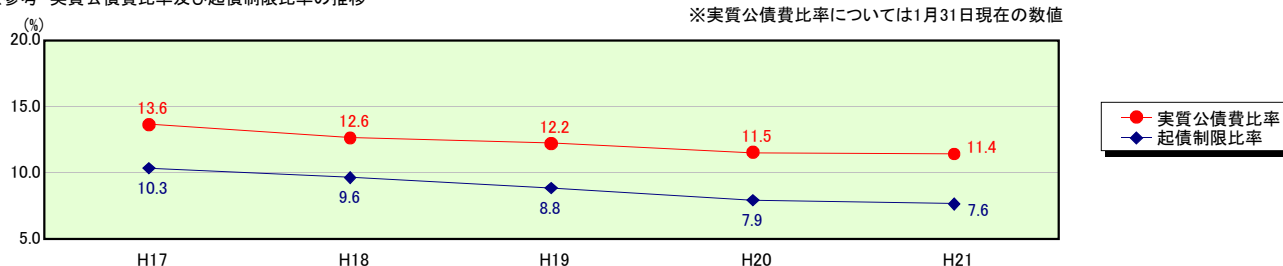
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素) ※1月31日現在の数値

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,717,533	30,423	49,923	▲ 39.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	36	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	711,417	12,601	13,517	▲ 6.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	91,142	1,614	3,931	▲ 58.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	2,831	50	1,765	▲ 97.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	26	-
▲特定財源の額	▲ 88,405	▲ 1,566	▲ 5,190	▲ 69.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,223,249	▲ 21,667	▲ 37,153	▲ 41.7
合計	1,211,269	21,455	26,854	▲ 20.1

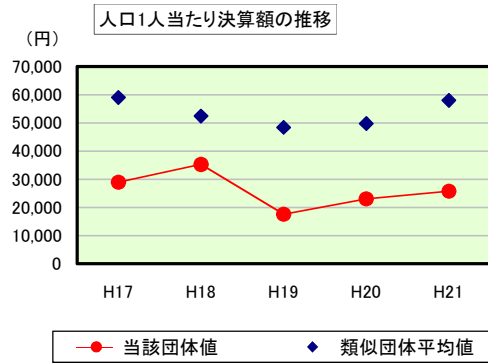
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

熊本県 荒尾市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	1,645,832	28,927	111.9	59,039	▲ 1.6	113.5
うち単独分	943,865	16,589	112.8	34,986	▲ 0.4	113.2
H18	1,995,870	35,239	21.8	52,453	▲ 11.2	33.0
うち単独分	1,182,953	20,886	25.9	30,509	▲ 12.8	38.7
H19	994,107	17,584	▲ 50.1	48,408	▲ 7.7	▲ 42.4
うち単独分	685,977	12,133	▲ 41.9	26,937	▲ 11.7	▲ 30.2
H20	1,305,533	23,048	31.1	49,774	2.8	28.3
うち単独分	782,073	13,807	13.8	26,739	▲ 0.7	14.5
H21	1,455,303	25,778	11.8	58,009	16.5	▲ 4.7
うち単独分	900,603	15,952	15.5	32,190	20.4	▲ 4.9
過去5年間平均	1,479,329	26,115	25.3	53,537	▲ 0.2	25.5
うち単独分	899,094	15,873	25.2	30,272	▲ 1.0	26.2